

令和2年度  
北しりべし廃棄物処理広域連合温暖化対策推進実行計画  
推進状況

1. 実行計画の削減目標

2013（平成25）年度を基準年度として、計画期間の最終年度である2030（令和12）年度の二酸化炭素排出量を14%削減する。

（計画期間：2018（平成30）～2030（令和12）年度）

2. 令和2年度 温室効果ガス排出量実績

表1. 温室効果ガス排出状況

温室効果ガス	調査項目	平成25年度 (トン-CO <sub>2</sub> )	令和2年度 (トン-CO <sub>2</sub> )	増減量 (トン-CO <sub>2</sub> )	増減率 (%)	
二酸化炭素	廃棄物焼却	19,997	16,538	▲ 3,459	▲ 17.3	
	燃料消費	灯油	1,053	173	▲ 880	▲ 83.5
		ガソリン	3.4	2.1	▲ 1.2	▲ 36.1
		軽油	40	36	▲ 4	▲ 10.0
	購入電力	389	324	▲ 65	▲ 16.6	
	売却電力	▲ 2,170	▲ 1,587	583	26.9	
	小計	19,312	15,487	▲ 3,825	▲ 19.8	
メタン	廃棄物焼却	1.0	0.8	▲ 0.2	▲ 17.3	
	自動車使用	0.0076	0.0070	▲ 0.0006	▲ 7.8	
	小計	1.0	0.8	▲ 0.2	▲ 17.2	
一酸化二窒素	廃棄物焼却	725	600	▲ 125	▲ 17.3	
	自動車使用	0.18	0.14	▲ 0.04	▲ 22.7	
	小計	725	600	▲ 125	▲ 17.3	
ハイドロフルオロカーボン	カーエアコン	0.086	0.086	0	0.0	
	小計	0.086	0.086	0	0.0	
温室効果ガス排出量合計		20,039	16,088	▲ 3,951	▲ 19.7	

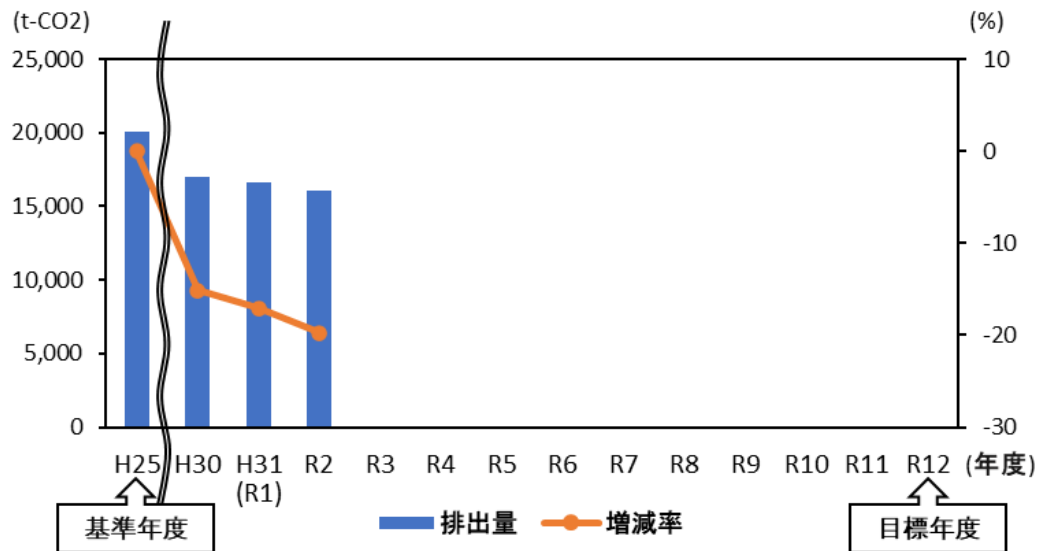


図 1. 温室効果ガス総排出量の推移

### 3. 結果の評価

令和 2 年度における温室効果ガス総排出量は 16,088 トンで、基準年度の平成 25 年度と比較すると 3,951 トン減少し、増減率は 19.7% 減であった。

調査項目別では、電力の売却に伴う二酸化炭素排出量は増加しているが、その他の項目では減少した。(表 1)

温室効果ガス総排出量については、目標年度に向けて順調に減少している。(図 1)